

十勝川中流部 市民協働会議とは



沿革

- 2002年9月～2004年11月
十勝川相生中島地区川づくりワークショップ
- 2005年1月～2015年2月
十勝川相生中島市民協働会議
(2月20日 十勝川中流部市民協働会議と合併)
- 2010年10月～2012年3月
十勝川中流部川づくりワークショップ
- 2012年7月
十勝川中流部市民協働会議 発足

活動概要

当団体の前身となる十勝川中流部川づくりワークショップの終了に際し、参加メンバーが中心となり「自分たちの立案した計画の遂行に自分たちも参画する」ことを目的に、この団体を結成しました。その後、教育機関や他団体にも働きかけ流域住民の視点に立ち、地域の財産である十勝川の「より良い川づくり」を行うことを目的に活動しています。

また 治水のみならず、教育を通じて文化の継承や環境保全、そして水辺利活用を考え地域住民や次世代を担う学生のアイデアを活かしながら、「川づくりから地域づくり」への更なる発展を目指しています。



十勝川インフォメーションセンター

主な活動内容

- 高校連携** ・帯広工業高校環境土木科
→測量・播種・タンチョウ給餌場設置・防災
・帯広農業高校農業クラブ「中流部川づくり班」
→魚類等調査
- 河川文化の伝承** ・「十勝川アシリチェブノミ」、「十勝川サロルンリムセ」協賛
- 環境整備** ・相生中島上流湿地の維持、水辺の築校整備
- 地域防災** ・防災講習、避難訓練サポート、「地域防災システム」運用
- その他** ・十勝川中流部川づくり報告会（年2回）
事務局会議（年6回程度）

※2016年3月、国土交通省の「河川協力団体」に指定される。



設置した給餌場にやってきたタンチョウ

十勝川中流部市民協働会議

代表 柳川 久

〒080-0030

北海道帯広市大通北2丁目 十勝川インフォメーションセンター内

TEL 0155-23-2160 FAX 0155-22-2991

〈開館時間〉9:00～17:00 〈休館日〉毎週月曜日、年末年始 〈入場料〉無料

〈アクセス〉車 ▶帯広駅より車で7分

バス▶十勝バス：「音更線」「上土幌」「糠平」「十勝川温泉」行きで7分+「西2条1丁目」下車徒歩約5分

・拓殖バス：「一中線」行きで7分+「西2条1丁目」下車徒歩約5分

<http://churyubu.eco.coocan.jp/index.html>



2020年7月作成

十勝川流域の 川づくり・地域づくり

～治水・環境・防災・文化を地域との連携で～



十勝川中流部市民協働会議



ヤナギ調査



魚類計測



魚類調査

SDGs

SDGsは「持続可能な開発目標」の略称で、地球上のみんなで解決するために国連で採択された17の国際目標です。
この中の3つ（河道内の樹林再生抑制による温室効果ガスの削減、自然環境の多様化、民族との連携）を“私たちのSDGs”として湿地の活動を行っています。

当会で取り組む3つの目標

13 気候変動に具体的な対策を
【13 気候変動に具体的な対策を】
湿地、草原環境の維持によって伐採工事に伴う温室効果ガス（二酸化炭素量）を抑制する。
目標 2030年までに温室効果ガスを45%削減する。

15 陸の豊かさも守ろう
【15 陸の豊かさも守ろう】
掘削による湿地化で創出した生物の多様性を維持する。
目標 掘削前より49%増加した生物種数を2030年まで維持する。

17 パートナリシップで目標を達成しよう
【17 パートナリシップで目標を達成しよう】
川づくりにおいてアイヌ民族とのパートナーシップを築き民族文化伝承に貢献する。
目標 毎年20量のゴザ制作に必要な原材料のガマ生育地を確保し提供していく。



相生中島

より良い川をみんなで作る活動をしています

十勝川中流部 市民協働会議

「水辺の楽校」支援

～水辺の楽校（がっこう）にて～
札内川の光南地区にあり、平成28年の洪水後から近隣の市民と連携して修復を始めている「光南水辺の楽校」。除草や散策路の整備をはじめ、毎年「十勝の川づくりワークショップ」で植樹や環境学習を行っています。



環境学習（魚類）



植樹前の講習



植樹完了



水切り大会

高校との連携

帯広農業高校 十勝川中流部川づくり班や帯広工業高校 環境土木科と連携し、川づくりを通して治水・環境・地域社会や文化について学んでいます。生まれ育った地域の自然に触れることで自然環境に親しみを持ち、また治水や防災そして地域社会や文化について学んで、その経験を次世代に繋いでいければと思います。

帯広農業高校

帯広工業高校



1年_礫河原再生横断測量



2年_タンチョウ給餌場設置



3年_防災流量観測

河川文化の伝承

十勝川の千代田堰堤でかつて多くの人が楽しんだ「秋味まつり」のような行事が再び開催されるよう、地元の団体によるイベントやアイヌ民族の伝統文化紹介など、地域と連携して多くの方に参加してもらい、地域の活性化に貢献していきます。



アシリチェブノミ_伝統舞踊



アシリチェブノミ_食事



サロリンリムセ_千代田堰堤

十勝水系 地域防災システム

洪水による危険をサイトで確認しメールで知らせます。

1. 現在地から避難所までの経路や時間
2. 自分の家などが浸水する深さ
3. 水位観測所のはん注意までの水位などを確認でき、また水位観測所の水位が、水防団待機・はん注意・避難判断・はん注意の各段階に達すると、登録者にメールが自動配信され準備を促します。

水位観測所の 防災水位に達したら 自動メール発信!

eub: 水防団待機水位に達しました
「メール登録者の皆様、只今帯広水位観測所で水防団待機水位に達しました。」
これからの雨量と雨量の推移を確認するように、また近くの避難場所についても確認するようにしてください。
今後いずれかの観測所ではん注意水位になりましたら再びメール配信されます。」
下記URLは帯広水位観測所です。
<http://www.river.go.jp/sawabou/isSuikKobaiju.do?osurviid=2335700400014&galementid=015003&sig=69f29e9d69c85045&id=City&enok&vixes&limeType=10>
十勝川水系 地域防災システム
<http://churyubu.eco.coccan.jp/bousai/index.html>

〈防災メール〉

メール配信希望の方は、「配信希望」と書いてメールして下さい。
ueda_t@arc-corporation.co.jp

- ◆市町村別の浸水想定区域図・避難所を表示します。
- ◆国土交通省・日本気象協会の河川の水位や雨量を表示します。



「十勝川水系 地域防災システム」は、当サイトの右側パネルからも表示できます。
(<http://churyubu.eco.coccan.jp/bousai/index.html>)